にじいろ便り　第7号

社会福祉法人　楽山会　第二椎の実子供の家
H27年10月1日（木）

台風の影響の長雨も過ぎ去り、空には秋のいわし雲。少し肌寒いくらいの気候になってきました。秋と言えば、スポーツ・芸術・美味しい食べ物など、楽しみなことがいっぱいでウキウキしてきますね！

おしらせ1

うんどうかい

１０月１７日（土）
場所…市立第七小学校
（雨天決行）
地域の未就学児さんが参加できる競技があります。ぜひ、ご参加下さい。

おしらせ2

0歳児クラス 体験＆見学会

① 10 月 1 日（木）
② 10月20日（火）
③ 11 月 4 日（水）
④ 11月26日（木）
時間／１０：３０～１１：３０

- 参加費無料！お問い合わせ、参加ご希望の方は、お電話ください。
  電話／0422－44－4103　（担当：竹内・阿部）

一時預かりやっています！

お仕事や、お子様を連れて行くことが出来ないお出かけの時、大人のリフレッシュ時間などご利用いただけます。
問合せ先／0422-44-4103（担当：阿部）

3　おうちでできるモンテッソーリ教育

運動の敏感期って？

運動の敏感期

●基本的な全体運動　０～３歳　　●洗練、調整された運動　３～６歳

この時期、腕、手、指などの微細な運動機能、身体各部の協応性、洗練された動きを獲得します。また周りの大人の真似をする「模倣期」でもあります。そのため大人の家庭生活の真似をしたがることも多いのです。炊事や洗濯など母親にまとわりついてやりたがります。ところが、家の中の家具や食器などは大人のサイズ・重さに合わせてありますから、小さな子どもにとっては困難な作業となります。大抵は「失敗」という結果に終わり、「いたずら」とみなされ、以後、大人によって禁止されてしまいます。しかし、子どもは決して「いたずら」をしているのではありません。自分の運動機能を獲得するためには、実際に体を動かして色々なものに働きかけてみるよりありません。

「運動の敏感期」について知り、子どもを観察してみて下さい。子どものこだわりが見えてくるかもしれません。そんなこだわりを見つけたら、ラッキーだと喜んで、その敏感期にある感覚を思う存分味あわせてあげて下さい。子どもが自分で納得できるまで体験し「できた！」と感じたら、楽しんでいた「いたずら」はぴたりとやめてしまいます。

大体、子どもは1歳半くらいまでに「歩く」という偉業を成し遂げ、その後さらに、物を使って遊ぶ、小さな物をつまむといった、より細やかな動きを求めるようになります。ハサミで紙を切る、穴にひもを通すなど、目と指先の感覚を同時に使うこと（『目と手の協応』といいます）で、運動の調整ができるようになっていきます。これにより、自分の身体を完璧にコントロールすることができるようになるのです。

この時期に家庭でしてあげたいこと

生活で使うはさみやガラスの食器など、危ないからといって、全てを遠ざけるのではなく、子どもが安全に使えるよう使い方、扱い方を教え、一緒に使ってみましょう。
また、ボール遊びや外遊びなどには意識してたっぷり付き合ってあげると良いですね！